

# エコマネジメント長野 各所属における率先取組事例集

1	事務の効率化	2
2	高効率照明の導入	6
3	緑のカーテン	8
4	節電対策	11
5	省エネ対策	15
6	エネルギー使用量のグラフ化・見える化による情報共有	20
7	取組意識の向上	27
8	廃棄物の削減	31
9	紙使用量の削減	34
10	節水の工夫	40
11	本来業務における環境配慮	42
12	エコドライブの推進	49

エコマネジメント推進事務局  
(環境エネルギー課)

事務の効率化



タイトル

クリアファイルの整理及びフラットファイルの整理

所属名

大阪事務所

No.

1

## 取組内容

1 クリアファイルは通常、文房具用品入れの引き出しに「横」に入れてしまいがちだが「色別に立てて」整理することで持ち出しやすくした。

2 これまではテプラによる簡易な背表紙であったが、文書事務に則して背表紙を貼り、整理整頓を行った。





タイトル

資材の整理整頓

所属名

上伊那農業改良普及センター

No.

2

## 取組内容

- 駐車場のわずかなスペースを資材置き場としているが、乱雑に置かれており、使いたい資材を探すのに時間を要していた。また、景観も損ねていた。
- 資材ごとに置き場所決め、ラベルを貼って掲示した。

整理整頓前



整理整頓後





タイトル

キャビネット・倉庫の整理（29年度以前からの継続的取組）

所属名

企業局

No.

3

## 取組内容

各自の座席近くのキャビネットに使用する文書を保存管理することにより、席の移動時間削減による業務効率化を図っている。

また、書庫・倉庫内にある不要文書の破棄により省スペース化を図っている。

# 高効率照明の導入



タイトル

職員室の照明のLED化

所属名

松代高等学校

No.

4

## 取組内容

省エネの取り組みとして、昨年度に引き続き職員室（英語科研究室）の照明のLED化を行った。消費電力が少なく長寿命で明るいので、メリットは大きいと思われる。実際に電気料の削減に繋がり、また先生方から「明るくなった」と喜ばれている。



緑のカーテン



タイトル

緑のカーテンの設置

所属名

野菜花き試験場

No.

5

## 取組内容

事務室南側に「緑のカーテン」を設置し、夏期の日よけ対策を行った。





タイトル

ゴウヤのグリーンカーテン

所属名

上田食肉衛生検査所

No.

6

## 取組内容

- ・ゴウヤのグリーンカーテンを作り、夏期における室温の温度上昇抑制を図った。



# 節電対策



タイトル

節電シールの活用及び不要箇所の消灯による省エネの取組

所属名

警察本部警務課

No.

7

## 取組内容

平成29年度に内部環境監査を行った所属では、共通した取組として節電シールの活用と不要箇所の消灯による省エネの取組が行われていた。





タイトル

省エネの取組

所属名

警察本部警務課

No.

8

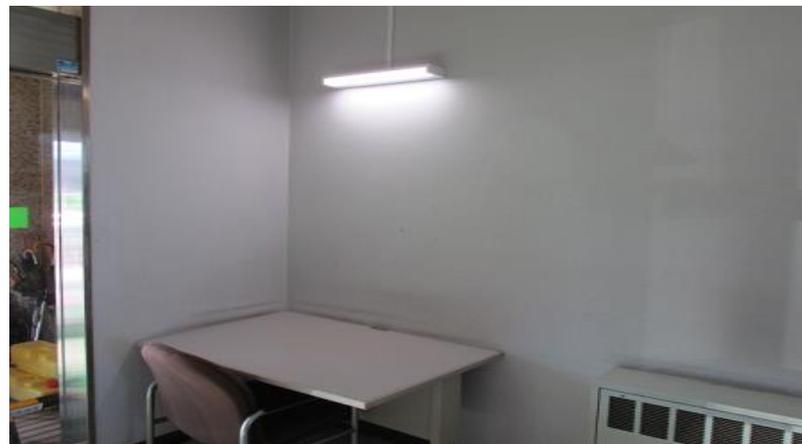
## 取組内容

### 1 人感センサーの設置

茅野警察署は職員の出入りが多い印刷室に人感センサーを設置し、照明の消し忘れ防止を図る取組を行っている。

### 2 LEDライトの導入

東北信運転免許課では、来客者用の受付デスクを設置の際に、その照明にLEDライトを導入し、省エネの取組を行っている。





タイトル

不要な照明の消灯

所属名

松川高等学校

No.

9

## 取組内容

- 放課後、生徒昇降口廊下を消灯し、代わりに感知式のセンサーライトを設置した。  
(生徒が帰る動線を照らすよう2箇所を設置)

# 省エネ対策



タイトル

節電対策・省エネ対策

所属名

諏訪実業高等学校

No.

10

## 取組内容

### [節電対策]

- ・夏季中の自動ドアの電源をOFFにし、ドアを開放し節電対策を行った。
- ・校内巡視等により、不使用教室等の照明のOFFを行った。

### [省エネ対策]

- ・グリーンカーテンの実施。・積極的な紙の裏面使用。
- ・クールビズ、ウォームビズの呼びかけ。適正温度での冷暖房機器の使用に努める。
- ・灯油の定量配付（気温、行事等により変動あり）



自動ドアの開放



グリーンカーテン



灯油の定量配付



タイトル

上田合同庁舎率先取組事例

所属名

上田地域振興局総務管理課

No.

11

## 取組内容

### 1 節電対策

- (1) 昼食休憩時間は各所課蛍光灯消灯。
- (2) 就業時間中の廊下蛍光灯を消灯。  
(差し支えない程度)

### 2 太陽光発電のPR及び発電量の揭示 (H22.7 導入)

### 3 ゴミの分別収集の徹底。

### 4 講堂に設置されているオート扇（天井設置型）を活用し暖房の効率アップ。



講堂オート扇の活用



ゴミの分別



太陽光発電のPR及び発電量の揭示





タイトル

電子黒板・モニターの活用

所属名

企業局

No.

12

### 取組内容

所属内での会議等において、電子黒板やモニターの活用により

- ・ペーパーレス化の推進
- ・テレビ会議による公用車での移動時間、旅費、燃料使用量の削減につながっている。

タイトル

公用自転車の利用

所属名

長野ろう学校

No.

13

### 取組み内容

近隣への出張は公用自転車を利用するよう職員に呼びかけ、ガソリン使用量の節約と二酸化炭素排出量の削減を図った。



タイトル

北側窓の断熱対策

所属名

広報県民課

No.

14

### 取組内容

執務室の北側の窓の内側に、ビニールを張り、断熱対策を行い省エネの取組を行っている。

エネルギー使用量のグラフ化・  
見える化による情報共有



タイトル

放課後施錠時の巡回時における電気・ストーブの消灯、消火確認状況

所属名

辰野高校

No.

15

## 取組内容

放課後、校用技師が施錠を行う際、クラス教室の電気の消灯やストーブの完全消火等を確認し、つけっぱなしになっている箇所について毎日データを取り、職員会にて定期的に報告して注意喚起を図っている。

タイトル

デマンド装置による電力使用量の監視と節電

所属名

長野ろう学校

No.

16

## 取組内容

デマンド監視装置による日々の電力使用量の測定・記録、デマンド警報発生時の状況等から、最大電力を更新しそうな時期や時間帯を把握し、校内巡視や職員への周知等により、節電に努めた。また、デマンド監視装置では学校全体の総使用量しか測定できないため、電灯盤等にある個別電力メーターに測定場所をわかりやすく表示し、警報発生時等に校内のどの場所の使用量が増えているかを把握できるようにした。



タイトル

エネルギー使用量のグラフ化、見える化による情報共有・意識啓発

所属名

川中島水道管理事務所

No.

17

## 取組内容

電気使用量等のグラフを事務室内に設けた「エコマネジメント長野」コーナーに掲示し、職員に対して情報共有と意識啓発を図っている。





タイトル

エコマネ掲示板の設置

所属名

諏訪地域振興局総務管理課

No.

18

## 取組内容

課内で情報を共有するため掲示板を設置しました。  
各自が「私の環境目標」を意識して取り組んでもらうために今回は電力使用量の推移を掲示しました。





タイトル

エネルギー使用量のグラフ化

所属名

野菜花き試験場

No.

19

## 取組内容

本館廊下の掲示板を利用して、「エコマネ長野コーナー」を設置し、エコマネに関する情報のほか、エネルギー使用量のグラフを掲示した。





タイトル

光熱費使用量のグラフ化・見える化

所属名

上田食肉衛生検査所

No.

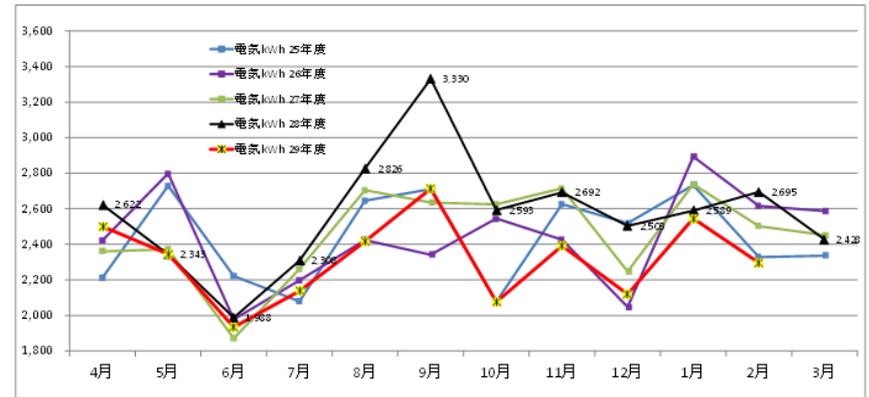
20

## 取組内容

- エネルギー使用量の掲示によるリアルタイムな情報共有、意識啓発を図った。

H29年度 光熱費使用量（電気）

電気 kWh	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25年度	2,213	2,729	2,221	2,079	2,646	2,710	2,077	2,626	2,519	2,733	2,328	2,336	29,217
26年度	2,422	2,798	1,978	2,197	2,424	2,341	2,545	2,426	2,048	2,893	2,615	2,587	29,274
27年度	2,360	2,372	1,871	2,261	2,705	2,635	2,625	2,715	2,247	2,738	2,502	2,452	29,483
28年度	2,622	2,343	1,988	2,308	2,826	3,330	2,593	2,692	2,503	2,589	2,695	2,428	30,917
29年度	2,500	2,345	1,934	2,137	2,417	2,713	2,076	2,391	2,119	2,545	2,296		25,473





タイトル

エネルギー使用量の見える化

所属名

犀川砂防事務所

No.

21

### 取組内容

- エネルギー使用量をグラフ化し事務室内に掲示をして、使用量が増加しているものについては朝礼等において注意喚起を行った。
- トイレの水洗量を絞り、わずかではあるが水道の使用量を抑えた。



タイトル

エネルギー使用量や削減目標等のグラフ化、見える化

所属名

長野ろう学校

No.

22

### 取組内容

校内のエネルギー使用量等の現状をグラフ化し、削減目標や目標達成のための手段、率先取組事例等をわかりやすい資料にまとめ、職員会で研修を行い、取組の推進を促した。

取組意識の向上



タイトル

省エネ意識の向上

所属名

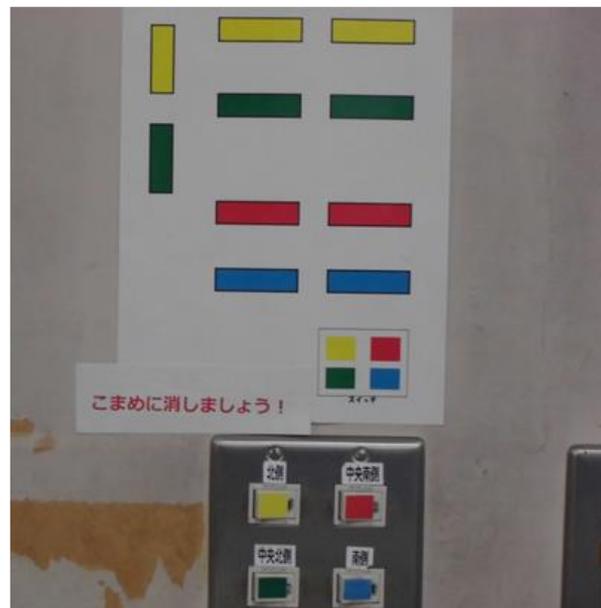
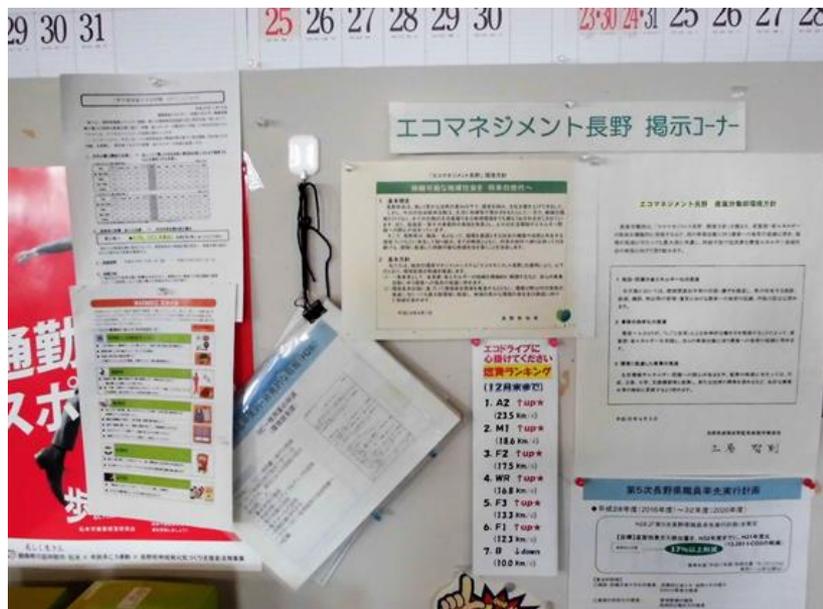
計量検定所

No.

23

## 取組内容

- ・エコマネジメントコーナー及び執務室のドア付近に、その時々を取組を掲示して、職員の省エネ意識向上を図っている。
- ・蛍光灯のスイッチをエリア別に色分けして、どの蛍光灯のスイッチかを明示することにより、こまめな消灯をしやすくして、省エネに努めている。





タイトル

マイバッグの使用

所属名

木曽地域振興局環境課

No.

24

## 取組内容

マイバッグの利用促進のため、事務室内にマイバッグを掲示し、来庁者への周知を図っている。

また、職員の出張時には書類等を入れるカバンとしても活用している。





タイトル

職員の環境意識の向上

所属名

松川高等学校

No.

25

取組内容

- 職員に配布する環境手帳に学校独自の数値目標と具体的な取組内容を記載し、環境に関する意識の向上を図った。

私の環境目標		研修受講記録			平成 29 年度 松川高等学校環境目標（環境手帳用）
年月日	研修名	確認印			
H28		<input checked="" type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○電気 平成 21 年度比 18%削減 削減後の使用量 151,300kWh 教室未使用時の照明・扇風機電源オフの徹底</li> <li>○灯油 平成 21 年度比 10%削減 削減後の使用量 10,350ℓ ストーブのこまめな運転調整</li> <li>○水道 平成 21 年度比 11%削減 削減後の使用量 922 ㎡ 日常的な節水、水の返し放しの点検</li> <li>○用紙 平成 28 年度比 5%削減 削減後の使用量 644 千枚 当面前年度使用量を超えないこと 片面使用済み用紙の再利用の徹底</li> <li>○可燃ごみ 平成 24～28 年度比 18%削減 削減後の使用量 2,236kg 過去 5 年間の平均排出量から 18%以上削減する。 ごみの分別収集と資源化の徹底</li> </ul>
H29		<input checked="" type="checkbox"/>			
H30		<input checked="" type="checkbox"/>			
H31		<input checked="" type="checkbox"/>			
H32		<input checked="" type="checkbox"/>			

私の環境目標		研修受講記録			平成 23 年度 松川高等学校環境目標（環境手帳用）
年月日	研修名	確認印			
H28		<input checked="" type="checkbox"/>			<ul style="list-style-type: none"> <li>○電気 平成 21 年度比 18%削減 削減後の使用量 151,300kWh 教室未使用時の照明・扇風機電源オフの徹底</li> <li>○灯油 平成 21 年度比 10%削減 削減後の使用量 10,350ℓ ストーブのこまめな運転調整</li> <li>○水道 平成 21 年度比 11%削減 削減後の使用量 922 ㎡ 日常的な節水、水の返し放しの点検</li> <li>○用紙 平成 28 年度比 5%削減 削減後の使用量 644 千枚 当面前年度使用量を超えないこと 片面使用済み用紙の再利用の徹底</li> <li>○可燃ごみ 平成 24～28 年度比 18%削減 削減後の使用量 2,236kg 過去 5 年間の平均排出量から 18%以上削減する。 ごみの分別収集と資源化の徹底</li> </ul>
H29		<input checked="" type="checkbox"/>			
H30		<input checked="" type="checkbox"/>			
H31		<input checked="" type="checkbox"/>			
H32		<input checked="" type="checkbox"/>			

# 廃棄物の削減



タイトル

ゴミ分別の工夫

所属名

上伊那農業改良普及センター

No.

26

## 取組内容

通常、ごみ箱には、側面か内側に紙を張り付けて、可燃ごみ用かプラスチックごみ用かを表記している。

- その場合、ごみ箱の汚れ防止用にビニール袋を設置すると見にくくなってしまう。

- そのため、業務用の余っている細長い札を使って表記し、ごみ箱の中に立てておくことで、一目で区別がつくようにした。





タイトル

分別の徹底

所属名

諏訪地域振興局総務管理課

No.

27

## 取組内容

分別カゴにフタを取り付け、注意喚起をした。



# 紙使用量の削減



タイトル

文書管理システムの電子供覧の活用

所属名

広報県民課

No.

28

### 取組内容

受信した電子メール文書について、課内供覧に該当する文書については、文書管理システムの電子供覧の機能を利用して供覧を行い、コピー用紙の使用量削減の取組を行っている。

タイトル

文書管理システムの電子供覧、電子決裁の推進

所属名

情報公開・法務課

No.

29

### 取組み内容

受信した電子メール文書について、文書管理システムの電子供覧の機能を利用して供覧を行っている。また、同じく電子決裁の機能を利用し、紙による決裁ではなく電子決裁を行っている。

今年度は、電子供覧を352件、電子決裁を374件行い、結果としてプリンター出力による用紙の削減、事務の効率化などの改善が図られた。（H30年1月末現在）



タイトル

ペーパーレス化の促進

所属名

南信州地域振興局環境課

No.

30

## 取組内容

- ・当課では、「資料3ない運動」に取り組み、既存の資料の活用や資料の簡素化を進めるとともに、電子決裁・電子供覧を積極的に活用している。
- ・平成29年12月には、飯田合同庁舎内の職員を対象とした「電子決裁・電子供覧システム研修会」を、南信州地域振興局総務管理課及び情報公開・法務課との共催により実施し、庁舎内における電子回議システムの活用による環境負荷の低減及び仕事の効率化の普及促進に取り組んだ。





タイトル

コピー用紙使用量の削減の取組

所属名

市町村課

No.

31

## 取組内容

- 全パソコンの印刷設定を「トナー節約」の「うすい（節約量大）」または「ややうすい（節約量小）」に変更した。
- 裏紙利用、両面印刷、Nアップ印刷を徹底した。
- ペーパーラボ用紙入れを設け、更なるエネルギー効率化に配慮した。





タイトル

コピー使用量の削減

所属名

野菜花き試験場

No.

32

## 取組内容

- コピー機設置場所に使用量単価を掲示し、削減を意識づける
- 野菜花き試験場各部、中南信専技室、病虫害防除所及び農大野菜花き実科・研究科ごとのコピー使用量を毎月集計し、部室長会で確認し検討している。

★1枚あたりのコピー代金は  
モノクロ 1.35円  
カラー 8.00円

紙資源を大切に！！

・裏紙使用 ・縮小印刷等



タイトル

コピー用紙の使用量削減

所属名

若槻養護学校

No.

33

### 取組内容

印刷ミスの裏紙を利用して、会議資料を作成する等、紙の使用量を削減した。  
職員会議の資料をPDF化してサーバへ保存し、会議中に各職員がパソコンで表示して会議を行うペーパーレス化をはかり、紙の使用量を削減した。  
また、資料作成の労力がいらなくなると同時に、資料の修正が会議直前まで可能となった。

タイトル

コピー利用量の周知と削減の呼びかけ

所属名

障がい者支援課

No.

34

### 取組内容

健康福祉部のしごと改革の取組目標「コピー機使用枚数とコピー紙購入枚数の平成27年度比10%削減」に基づき、片面使用済み用紙の再利用やコピー利用量削減を積極的に呼びかけるとともに、コピー利用量の周知を行うことで職員へ削減意識を高めるよう取り組んでいる。

# 節水の工夫



タイトル

雨水の集水用タンクに付着する藻対策

所属名

伊那家畜保健衛生所

No.

35

## 取組内容

平成26年度から雨水利用開始。毎年冬期には雨水集水タンクを撤去。撤去時のタンク内に藻が繁茂してタンク内部の清掃が大変だった。

そこで、タンクを黒ビニール袋で覆ったところ、藻の発生が抑制された。



本来業務における環境配慮



タイトル

長野県職員採用試験等の受験申込及び合格通知送付の電子化

所属名

人事委員会事務局

No.

36

## 取組内容

長野県職員採用試験等において、

- ①これまで紙でも受験申込が可能だったものを、ながの電子申請からのみ申し込みができるよう変更した。
- ②これまで紙の合格通知を郵送していたものを、ながの電子申請を通して合格通知のデータを送付するよう変更した。

以上により、紙の使用数量削減と事務の効率化を行った。



タイトル

水環境保全に関する環境教育の推進

所属名

水産試験場

No.

37

## 取組内容

1 小中学生等を対象にした施設見学を積極的に受け入れている。  
また、高等学校、地域の団体などからの見学依頼があった場合も受け入れている。  
見学者数 H29年度(H30.1月末現在) 1,890人

2 中学生、高校生の職場体験学習を受け入れている。

水産試験場(本場)	3中学校8名	4日間
諏訪支場	5中学校11名、1高校2名	12日間
佐久支場	4中学校11名	4日間
木曽試験地	2中学校5人	3日間
合計	15校 37人	23日間

【HP】 <https://www.pref.nagano.lg.jp/suisan/jisseki/29taikengakusyuu.html>

3 毎年、水産試験場、支場(諏訪、佐久)、木曽試験地の4か所で夏休み特別開放を行い、小学生等を対象に、魚のつかみ取り、釣り体験教室、魚の解剖体験、湖や川の生き物観察、試験場の紹介等を行っている。

参加者数

・水産試験場(本場)	7/28(金)	21人	・諏訪支場	8/4(金)	47人	
・佐久支場	7/27(木)	56人	・木曽試験	7/27(木)	2人	計126人

【HP】 <https://www.pref.nagano.lg.jp/suisan/jisseki/kaihou/h29tokubetukaihouyousu.html>

4 その他

ヤマメ稚魚放流での環境教育(6/20奈良井川、洗馬小学校生)

野尻湖クリーンラリーでの外来魚展示解説(7/1)

出前授業：諏訪湖の食物連鎖(11/7 豊田小学校6年生) など



タイトル

動物愛護センター節電・省エネルギー実行5ヵ年計画について（平成28年度から平成32年度） ～人間と動物、そして環境にも優しい施設へ～

所属名

動物愛護センター

No.

38-1

## 取組内容

動物愛護センターは平成12年度開所以来18年が経過しようとしている。ところどころ老朽化が目立ち始めている中でファシリティ・マネジメントの視点も加味しながら、所内の節電・省エネルギー取組実行計画を策定した。主な内容は下記のとおり。

### 1 蛍光灯のLED化（規模の大きい部屋から常時LED化へ）

◎設置済みの部屋

平成28年度・・・普及啓発棟（ふれあいルーム） 飼養管理棟（事務室・会議室・所長室）

平成29年度・・・普及啓発棟（どうぶつ探Q館）

○設置予定（県のLED化推進事業と連携しながら設置へ）

平成30年度・・・普及啓発棟（レクチャールーム） 飼養管理棟（動物収容室・保護観察室）

平成31年度・・・普及啓発棟（視聴覚研究室） 飼養管理棟（動物飼養・展示室）

平成32年度・・・普及啓発棟（図書室その他） 飼養管理棟（手術室・検査診察室その他）

### 2 太陽光発電システム設置（人間にも環境にもやさしい施設へ）

平成28年度・・・「おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクト」により普及啓発棟の屋根72㎡に太陽光パネルを設置した。（電気料金月約3万円程度の節約）



タイトル

動物愛護センター節電・省エネルギー実行5ヵ年計画について（平成28年度から平成32年度） ～人間と動物、そして環境にも優しい施設へ～

所属名

動物愛護センター

No.

38-2

## 取組内容

### 3 空調システムの更新（より省エネでエネルギー効率の良いシステムの導入へ）

平成30年度以降・・・動物の飼養管理を365日24時間行っていることから、特に空調設備の劣化が顕著になり、燃料代や空調設備の修繕費も年々増加していることから、空調設備の更新計画を関係各課へ申請し、平成30年度当初予算化に向けて検討している。

### 4 その他（身近なものから節電・省エネを見直しへ）

#### ○電気ポットから電気ケトルへ変更

電気ポットの使用は1日でもごくわずかであるにもかかわらず常時通電していること、また時々退庁時に電源を切り忘れることもあるなど無駄な電気を使用していた。このような状況から職員用に所内に2台あった電気ポットを沸かしたいときにのみ使用する電気ケトルに変更した。



タイトル

長野マラソンコース・沿道の環境美化活動

所属名

長野建設事務所

No.

39

## 取組内容

長野マラソン・長野車いすマラソンのコース及び沿道を大会前に清掃する取組を19年間継続して実施している。実施した状況等は、所のホームページでPRしている。

### 「長野マラソン、長野車いすマラソン」のコースおよび沿道の清掃を実施しました。

4月16日(日)に行われる長野マラソン参加選手および応援の皆様への安全と大会の成功を願い、コースおよび沿道の清掃を実施しました。

また、長野建設事務所では、長野マラソンに合わせ、安全確保と道路修繕を行っています。

記

日時：平成29年4月14日(金) 9時30分から16時まで  
参加人員：40名



○快晴に思われました一日で、安全第一に清掃を行いました。



※ 弁当の容器、ペットボトル、家庭ゴミ、車取部品など、実に様々な物が落ちていました。気持ちよく道路を利用していただけるよう、皆様のご理解、ご協力をお願いします。



タイトル

環境にやさしい農業技術の取組拡大

所属名

長野農業改良普及センター

No.

40

## 取組内容

長野農業改良普及センターでは環境にやさしい農産物の生産拡大、技術導入を支援し、エコファーマーや信州の環境にやさしい農産物認証等の取得へとつなげる業務を行っている。

その足掛かりの一つとして「ミニトマトにおける環境にやさしい農業技術の導入実証」に取り組んだ。

目標：減農薬・減化学肥料栽培技術の確立

実施地区：長野市鬼無里

実施事項：実証ほ設置・調査・巡回指導・現地検討会

### 地域のできごと

H29.10

#### 環境にやさしい農業技術のミニトマト現地検討会を開催しました

長野農業改良普及センターでは、平成27年度より「Aながの鬼無里地区での環境にやさしい農産物認証制度実証事業」の取り組みを支援しています。この事業では、有機物施用による土づくりを基本に、化学肥料及び化学合成農薬を地域の一般的な生産方法と比較して50%削減した栽培実証を目指しています。

去る9月6日、長野市鬼無里地区にて、ミニトマト栽培における環境にやさしい農業実地実証の中間検討会を開催しました。地域生産者やJA、農組織の関係者を交えて、試験担当者から試験状況の説明の後、葉かび病やアザミウマ類などの病害虫発生状況、施肥のポイント、使用した微生物農薬や有機質肥料の特徴を確認しました。課題であったハウス内の高温対策として導入した遮光網により、生産者からは生理障害（花隈び）が低減されて良かったといった声も上がりました。

今後も、IPM（総合的病害虫・雑草管理）を用いた環境にやさしい農業技術の地域への普及を図っていきます。



病害虫の発生状況について説明



黄色粘着板によりアザミウマ類を発生予防

（「ながの普及＆農政だより」平成29年10月号より）

# エコドライブの推進



タイトル

エコドライブの促進による公用車燃料の削減

所属名

計量検定所

No.

41

## 取組内容

執務室内（入口横のエコマネジメントコーナーやキーボックス付近の壁）に公用車の燃費ランキングを掲示してエコドライブについて注意喚起をするとともに、ランキングを3月に一度更新し、前回の状況と比べて「UP」

「横ばい」「DOWN」を明示することにより、職員がエコドライブについて具体的に意識できるようにしている。

また、職員が出張前に公用車使用簿に綴ったエコドライブの冊子に目を通したり、キーボックス付近の壁に貼ってある「エコドライブ10のすすめ」のチラシを見て、エコドライブの意識を高めている。

○公用車の燃費状況（12月末）

ランキング	車名		燃費 (9月末)	燃費 (12月末)
1	スズキアルトⅡ	A2	23.43	23.50
2	三菱ミニカⅠ	M1	16.76	16.80
3	マツダファミリアⅡ	F2	16.75	17.50
4	スズキワゴンR	WR	16.42	16.80
5	マツダファミリアⅢ	F3	13.16	13.30
6	マツダファミリアⅠ	F1	11.89	12.30
7	マツダボンゴ	B	10.11	10.00

燃費の下がった自動車は、特にエコドライブに心掛けましょう。

**エコドライブ10のすすめ**

- 1 安全速度
- 2 カーブの手前



タイトル

公用車ガソリン使用量の低減に向けて

所属名

長野農業改良普及センター

No.

42

## 取組内容

月ごとのガソリンの使用量や各車の燃費をグラフ、表にまとめ掲示することで、ガソリン使用量への関心を高めることをめざした。

併せてガソリンの節約につながると思われるヒントを掲載して意識の啓発に努めた。

- ・ 月別ガソリン使用量  
H27~H29分をグラフにして掲示
- ・ 車別の燃費（累計）  
表にして掲示

掲示場所はエコマネジメント掲示板  
（出入り口付近のコピーカード、予定表に近く目につきやすい場所）

